

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年8月1日～2024年7月31日)

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 実施体制	P.3
4. 環境方針	P.4
5. (基準年の環境負荷と)環境目標	P.5
6. 環境活動計画、環境目標の実績及び環境活動計画の 取組結果とその評価並びに次年度の取組内容	P.6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.7
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.7

2024年9月24日発行

 **沼田工業株式会社**

1. 組織の概要

・事業所名 沼田工業株式会社

・代表者氏名 沼田順一郎

・環境管理責任者・担当者及び連絡先

環境管理責任者 吉田 等

EA21事務局 吉田 等

TEL 044-599-1561 FAX 044-599-1563

E-mail numatakk@numata-kougyou.co.jp

・所在地

本社 〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬3丁目4番9号

・事業活動の内容 総合建設業、左官工事業

・事業規模 63期(2023年8月1日～2024年7月31日)

売上額 18 億円

従業員数 24 名

事務所床面積 475 m²

2. 対象範囲

(1)認証登録対象組織

本社

(2)認証登録対象活動

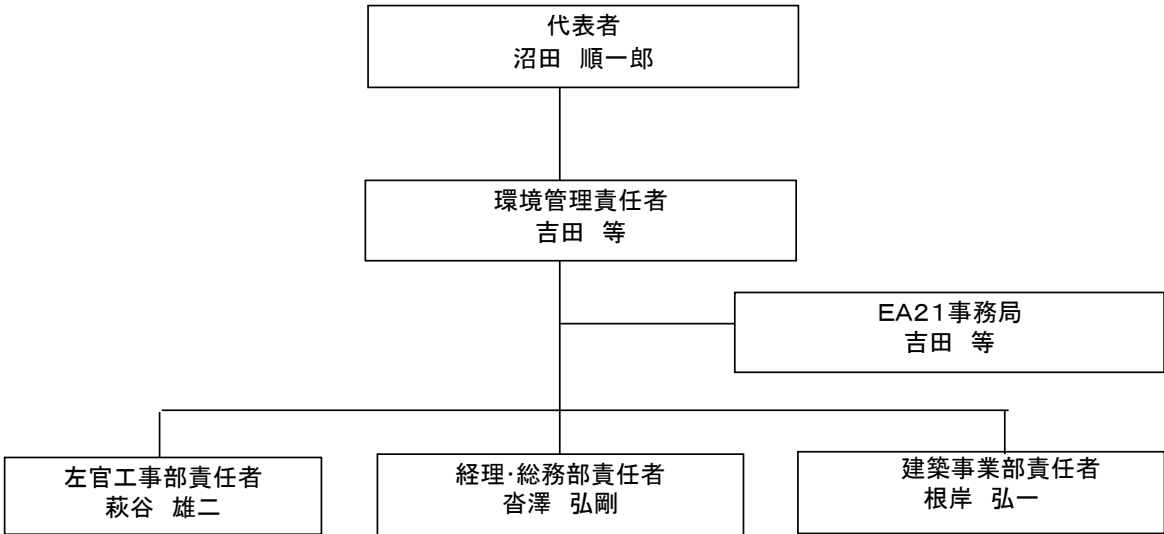
総合建設業、左官工事業

3. 実施体制

作成 2024年8月1日

建設実施体制及び責任・権限表

承認		作成
社長 24.08.01 沼田		環境 24.08.01 吉田



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 経営における課題とチャンスの明確化 4. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 5. 環境経営システムの定期的見直しの実施 6. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成、テスト、訓練を実施し記録を作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 6. 建設現場の作業員への簡単な教育(騒音、振動、廃棄物、省エネ、省資源、緊急時対応)、指示 * 下請等の協力会社作業員含む
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。 2. 下請等の協力会社作業員も簡単な教育、指示に従って活動する。

(回覧ルート) 環境管理責任者 → 全部門責任者

改訂履歴

改訂数	改訂理由	改訂月日	承認	作成者
1	初版	2022.10.18	社長	田原
2	2版 : 担当者変更	2023.11.01	社長	吉田
3	3版 : 担当者変更	2024.08.01	社長	吉田

4. 環境経営方針

沼田工業株式会社の環境経営方針

〔企業理念・事業活動〕

沼田工業株式会社は創業以来、地域社会への貢献はもとより、誠実な施工をもって永きに渡り信用を築いてまいりました。企業の「社会的責任」として、環境問題に自主的・継続的に取り組み、地域から信頼、必要とされる企業を目指します。

1. 当社の事業活動による環境負荷削減を実行する為に、下記の行動指針を定め全従業員で取り組みます。
 - ① 電力・化石燃料の節減による二酸化炭素排出量の削減。
 - ② 節水による水使用量の削減。
 - ③ 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクル促進。
 - ④ 環境配慮型材料を積極的に使用。
2. 環境関連法規・条例・その他規制を遵守します。
3. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。
4. 全従業員にこの環境方針を周知します。

2023年10月31日

沼田工業株式会社

代表取締役 沼田順一郎

5. (基準年の環境負荷と)環境経営目標

環境経営目標		基準(実績)	中長期目標		
		2021年度	2023年度	2024年度	2025年度
		2021/8～ 2022/7	2023/8～ 2024/7	2024/8～ 2025/7	2025/8～ 2026/7
1. 素排削 排出酸化炭	本社 & 現場	48,291 kg-CO ₂	2%削減 47,325 kg-CO ₂	3%削減 46,842 kg-CO ₂	4%削減 32,428 kg-CO ₂
1.1 電力 使用の 削減	本社	32,394 kWh	2%削減 31,746 kWh	3%削減 31,422 kWh	4%削減 22,232 kWh
	現場	4,852 kWh	2%削減 4,754 kWh	3%削減 4,706 kWh	4%削減 2,180 kWh
	合計	37,246 kWh	2%削減 36,500 kWh	3%削減 36,128 kWh	4%削減 24,412 kWh
2. 使車減 両量の燃 燃料	本社	13,685.1 L	2%削減 13,411.3 L	3%削減 13,274.5 L	4%削減 9,302.9 L
2. の削 廃減棄物	本社	データ無し ー 袋	2023年度推定値1% 削減 219 袋	2023年度推定値2% 削減 217 袋	2023年度推定値2% 削減 217 袋
3. 源化上 率再向資	現場	(対全建設廃棄物排出量) 93.3 %	+ 0.2% 93.5 %	+ 0.3% 93.6 %	+ 0.3% 95.2 %
4. の削 減水	本社 & 現場	136.0 m3	2%削減 133.2 m3	3%削減 131.9 m3	3%削減 101.8 m3
5. 質適正 化学管理物	現場	PRTR制度対象物質 649.3 kg	適正管理 ー kg	適正管理 ー kg	適正管理 ー kg
6. 環境 入配慮 増型左 官材購		環境配慮型左官材購入量(全左官材購入量に対する割合)	0.2%増加	0.3%増加	0.3%増加
	配慮型重量	24.25 t	ー	ー	ー
	全材料重量	349.81 t	ー t	ー t	ー t
	割合	6.93 %	7.13 %	7.23 %	8.12 %

注(1)購入電力のCO₂排出係数:0.443kg-CO₂/kWh

6. 環境活動計画、環境目標の実績及び

環境活動計画の取組結果とその評価並びに次年度の取り組み内容

環境活動計画		取組結果とその評価(2023年8月～2024年7月)			
		環境目標	実績	達成区分	評価及び次年度の取組内容
		2023年8月～2024年7月	2023年8月～2024年7月		
1. 二酸化炭素排出量の削減	本社 & 現場	2%削減 47,325 kg-CO ₂	-53.4% 削減 74,087 kg-CO ₂	×	車両燃料使用量に於いて、目標設定時データ不足で総量把握ができず、短期記録からの推定値を利用した為、現状と大きな差異が生じました。今年度の通期実績データから目標を再設定検討致します。
1.1 電力使用の削減 ・自動点滅照明への切り替え(6か所) ・エアコン設定温度の徹底(冷房28℃・暖房20℃) ・毎日、ノー残業デーの啓発 ・現場事務所に節電を呼びかける掲示を行う。	本社 現場 合計	2%削減 31,746 kWh 2%削減 4,754 kWh 2%削減 36,500 kWh	37.6% 削減 20,201 kWh 7.2% 削減 4,501 kWh 33.7% 削減 24,702 kWh	○	本社電気使用量は行動目標の実施が順調に進んでいます。本社で残業の削減が大きな要因になります。今期着工現場があり使用量増加が見込まれます。総量として目標管理に努めてまいります。
1.2 車両燃料使用量の削減 ・アイドリングストップ搭載車の導入 ・エコドライブの徹底	本社	2%削減 13,411.3 L	-98.7% 削減 27,198.0 L	×	目標設定時データ不足で総量把握ができず、短期記録からの推定値を利用した為、現状と大きな差異が生じました。今年度の通期実績データから目標を再設定検討致します。
2. 廃棄物の削減 ・一般廃棄物の分別 ・会議資料などのペーパーレス化	本社	推定値から 219 袋	 202 袋	○	引続き、意識向上に努める。
3. 再資源化率向上 ・分別の徹底	現場	+ 0.1% 93.5 %	5.5% 99.0 %	○	工事中現場の工程から、リサイクル率の高いコンクリート塊・アスファルト・コンクリート破片の排出量が97%となり再資源率の向上の要因になっている。
4. 水の削減 ・自動水栓への交換(3か所) ・全員で節水に心掛ける	本社 & 現場	2%削減 133.2 m3	-8.1% 削減 144.0 m3	×	自動水栓への交換が未完了。社員各自の節水意識不足に問題提起未完。以上を目標未達の要因とらえ、次年度の取り組みと致します。
5. 化学物質適正管理 ・代替材の調査	現場	適量管理	適量管理 2.3 kg	○	適量管理
6. 環境配慮型左官材購入量増 ・環境配慮型左官材の特定 ・環境配慮型左官材の導入	配慮型重量 全材料重量 割合	0.1%増加 — t — t 7.13 %	増加 14.05 t 321.67 t 4.36 %	×	年度初め環境配慮型左官材料に対す認識が薄く目標とかけ離れたが、年始1月)取締役の啓発から使用量が増加。しかし、結果としては年度目標値は未達に終わる。次年度、年間を通しての目標管理・啓発活動を徹底致します。

○: 目標達成、× 目標未達

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
騒音・振動規制法	指定地域内の特定建設作業、空気圧縮機
資源有効利用促進法	建設資材(土砂1,000m ³ 以上、砕石500t以上、加熱アスファルト混合物200t以上)、指定副産物(建設発生土1,000m ³ 以上、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊又は建設発生土の重量合計200t以上)を排出するとき
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃油等)
家電リサイクル法	ユニット型エアコン、液晶・プラズマテレビ、冷凍冷蔵庫、洗濯機
建設リサイクル法	対象建設工事受注者、特定建設資材廃棄物の再資源化
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務、自動車の所有者、取引業者への引渡
フロン排出抑制法	建築物等の解体工事を請け負うとき、第一種特定製品を使用しているとき、廃棄するとき

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

エコアクション21を構築し、運用を始め目標の達成状況、計画の実施状況及び法規等の遵守状況を見る限り、十分とは言えないものの主要な環境活動は概ね実施できた。従って環境方針は変更しないが、活動テーマによっては改善の余地が残されており、今後社員が一丸となってシステムの充実と改善に取り組んでほしい。

(2) 見直しの結果

- ① 二酸化炭素の排出では、ガソリン使用量の削減は目標を達成できず、結果的二酸化炭素排出量は目標値から乖離した。ガソリン使用量目標設定時のデータ不足から推定値での設定に起因すると考えられる。今年度通期の集計データより目標値を再検討。
- ② 水使用量の削減は、目標未達の原因を究明し、掲げた対応策の実施に留まらず一人ひとりが自覚を持った上で来年度の目標達成を期す。環境目標は変更しない。
- ③ 環境配慮施工の新規開発に着手し、当社の新たなビジネスにつなげていきたい。目標は継続する。
- ④ システム構築に際し、該当法規等の調査検討に注力したせいか適用事項が明確になり、取り組むべき対象が具体的に把握できるようになった。苦情が想定される騒音対策に万全を期すこととする。そして今後とも新たな法規制情報の収集に努める。
- ⑤ 実施体制に変更なし